

宿泊例会 上高地

春楡の若葉の中 早春の花咲く上高地へ

日時：2022年5月28日（土）～30日（月）

行程：5月28日京都駅八条口 22:45 発さわか信州号乗車

5月29日 上高地バスターミナル 5:20 着

河童橋-小梨平-明神-徳澤園-横尾山荘まで散策（途中で引き返した）-徳澤園泊

5月30日 徳澤園 8:00 発

徳澤園-明神池-嘉門次小屋（昼食）-大正池-河童橋

上高地バスターミナル 15:40 発-京都駅八条口 21:14 着

天候：2日間とも晴れ

参加人数：16人

宿泊企画チームが企画



河童橋から徳澤園へのルートに行くのは3回目。過去の2回は、山登りに至る通り道として、脇目もふらずに行き過ぎるのみ。何てことだ。もったいない。ゆっくり歩き、よく見てこそ楽しみも大きいというのに。今回、宿泊例会のおかげでそれが実現。朝まだき、凍える寒さの中、ニリンソウの群落にコマドリの声が降り注ぐ。蒼穹を背に萌え立つハルニレの若葉が目染みる。頭上の穂高連峰に雪、足元には早春の花、聞こえるのは夏鳥のさえずり。季節を凝縮したようなあの空間に身を置けたことは幸いでした。せっかく習い覚えた植物名、この先記憶にとどめるよう努めます（なるべく）。人にも伝えられるよう復習します（できるだけ）。万端のお世話をいただいた皆さまに深謝します（心から）。（中川）

カラマツの林が大好きな私、ケショウヤナギもいいなあ～ツバメオモトが咲いているところをやっとみられた。ヤッホー企画準備をして下さった皆さまに感謝です。（北村）



ツバメオモト

上高地は初めての地ですが、山好きの人から話をよく聞いていました。

予想を上回る雄大な山々、透き通った川の水、素晴らしい景色でした。

道の両側にはニリンソウがあり、さらにシロバナエンレイソウ、ラショウモンカズラ、エゾムラサキ、ハシリドコロ、ヤマトリカブトなどたくさんの植物が見られました。

明神館の手前にニリンソウの群落があり、ミドリニリンソウや萼片の多いニリンソウを探しました。

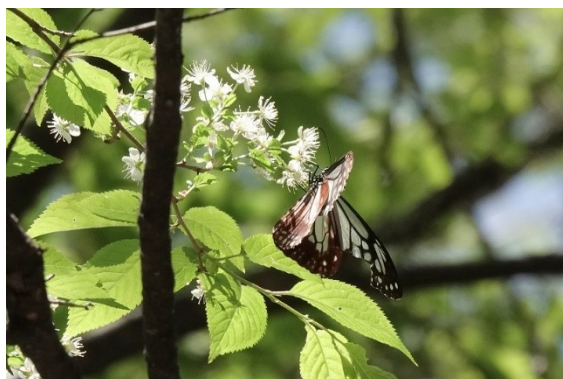
明神館から徳澤まではニリンソウが一段と目立っていました。

崖の所にはイワカガミ、シャクナゲが、カミコウチテンナンショウ、ヤマシャヤク、キジムシロなど多様な植物があり、自然の豊かさを感じた。

猿の群れにも会いましたが人を恐れること無く、堂々とすれ違っていきました。道にはビニール袋やペットボトルも落ちておらず気持ちよく歩くことができました。

宿泊所のイワナや山菜の料理もおいしくいただきました。

例会を企画していただきました幹事様と関係者の皆様ありがとうございました。 (梅田)

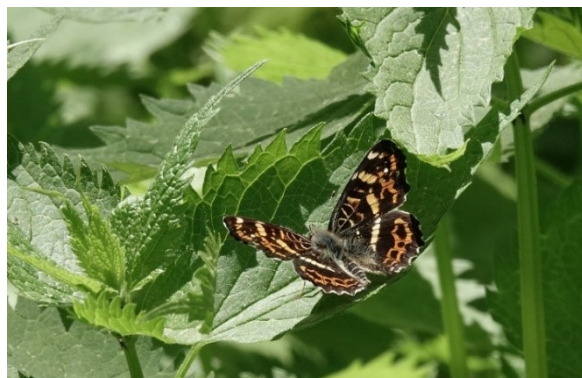


アサギマダラ

「春楡の若葉の中 早春の花咲く上高地へ」・・・なんと期待を膨らませるメッセージだろう。今まで上高地へは10回ほど訪れている。

季節はいつも殆ど6月下旬から8月ごろであり、この季節の上高地を知らなかった。午前6時半から快晴の梓川左岸を上流へスタート。残雪の穂高の岩峰を横目に、どこまでも続くニリンソウ、更にエゾムラサキ、ラショウモンカズラ、シロバナエンレイソウ、サンカヨウ、マイヅルソウなどの花々、リストを挙げれば切りがない贅沢さ！ミソサザイ、キビタキ、メボソムシクイ、コマドリ、ヒガラ、カッコウ他野鳥の歓迎、野猿の戯れ、梓川の清冽な流れ、宿：徳澤園での上品豪華な食事、夜行バスでの疲れなど吹っ飛んで2日間の自然観察会を満喫できた。

この季節のいいタイミングで計画、お世話をして頂いた正木様、全行程で詳しく解説をして頂いた清水代表、救急用品を持っていたいただいた海老原様、情報提供やお気遣いをして頂いた皆様方により楽しい充実した3日間を過ごせましたことにお礼申し上げます。 (眞田 幹雄)



サカハチチョウ 春型



カケス

梓川に沿って歩くと新しい葉が出そう時期でカラマツ、ハルニレ、ヤナギ属、ハンノキ属等の若葉の色にみなぎる力を感じました。

ズミの蕾がピンク、花が白でまるで紅白の花のようです。葉の形がいろいろと聞いていたので、探しましたが、どれも普通の形で無駄でした。

シウリザクラ、ミヤマザクラの白い花が咲いていました、若木の枝が紫褐色に地色に白い点々とした皮目。見られました。

2日間歩いて、ごみを見たのはマスク一つでした。近所の川もこうあればと思いました。

正木さんはじめ世話役の方々のおかげで楽しい旅になりました。深謝。

(近藤)



とても良い天気でした。澄んだ空気なので山の雪渓と青空がとても綺麗に見えました。自分が撮った写真さえもクリアに写っているような気がしました。たくさんの方が押し寄せる理由がわかったような気がします。

夜は久々に星の観察をしました。都会では、おおぐま座の北斗七星（大びしゃく）と北極星が精いっぱいですが、北極星を含むこぐま座の小びしゃくが見えました。しし座、さそり座以外にもふだん都会では見づら



らい牛飼い座、からす座、かんむり座、ヘラクレス座、いるか座などの形がはっきりと分かり、久々に星をじっくり観察することができました。ただ、一つ残念なことは天の川がすっきりと見えなかったことです。昔のように、物干し竿で星が落とせそうなくらい地上に迫る星空を見てみたいです。

(細川 幾由)

上高地は、昨年燕岳からの縦走で到着予定地だったが変更になったため、今回初めて足を降ろしたのですべてが新鮮だった。残雪の前穂高岳、明神岳を眼前にのぞみ、梓川の透明な流れがきらめき、シラカバなど木々の新緑がまぶしく心がすっかり洗われた2日間だった。

ニリンソウの大群落や多くの樹木や草花に出会えたが、初めて出会ったシウリザクラなどサクラ類、ケショウヤナギ、ハルニレ、ザリコミ、コマガタケスグリ、クロカンバ、サンカヨウやツバメオモト、レンブクソウ、ミネカエデの花などが印象的だった。おまけは明神での昼食中にカラスに背後からパンを齧り取られたこと。身体にかすりもせず素早く奪う鳥の腕前にしてやられたと納得、サル行列とあわせ上高地での生き物との交流の思い出になった。



サナギイチゴ

(平尾 繁和)

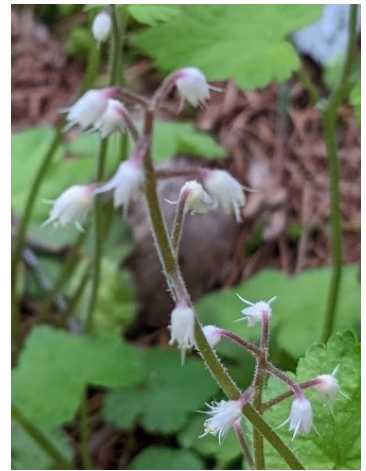
上高地、財布は戻る。

今迄は写真で見る「河童橋」や「梓川」でしたが、今回は天候にも恵まれ、行ってみてやっぱり上高地は最高！ 大自然の中での観察コースをいつものメンバーがワイワイガヤガヤとゆっくり進み、正面から来たサルや家族にも道を譲ったりしました。しかし、今回の旅ではこの様な光景や宿や料理の他に、私だけの財布事件が起きていたのです。

バス下車後のどこかで財布を落とした様で、午後 2 時前に着いた宿からインフォメーションセンターへ電話しました。何と、既に私の財布が届いていたのです。誰か知りませんが感謝感謝です。しかし、そこまで往復 4 時間の道のりを今から行くのはあきらめ、翌日バスに乗る前に受け取ることにしました。それまではリーダーさんにお金を借りて過ごすことで一安心。この件を知った人の中で、親切心・心配性？から「財布の中身は大丈夫だったの」と言われ、ハッとしました。電話では財布が届いているとだけ聞いて安心していたのです。結局は全て大丈夫だったのですが、あの一言から財布と再会するまでは不安の中で過ごすことになりました。この宿泊例会は日本の自然を見直し、日本人を見直した旅になりました。

最後に、正木リーダー、清水代表ほか準備して頂いた方々、本当にありがとうございました。

(古結)



ズダヤクシュ

私が呪文と称する植物の名前が上高地で追加されました。シウリザクラ、ズダヤクシュ、ベニバナイチヤクソウ、ザリコミ、ノビネチドリ、カニコウモリ、クルマバツクバネソウ、クリンユキフデ…

これはもう、帰ってから書き留めたノートを見返してもどれがどれだかわからない。なんて思っていましたら、宿泊する徳澤園の売店で【歩いて愉しむ 上高地花図鑑 上高地の花 300 種】なるものを見つけました。B6 サイズ、オールカラー60 ページの程よいコン



パクトさ。内容も名前、開花時期、3 行の簡単な説明。上高地初めての私には充分です。カタカナで書かれた植物の名前の横に漢字表記があり、これがまた面白い。薄葉細辛、酸実、喘息薬種、小噴唸草、類用牡丹、深山延齡草、燕万年青、連福草、小瓔珞躑躅…並べてみると、なんだか漢文のようになりました。ひとまず、図鑑から離れて上高地で印象に残ったものはいくつもあります、やはり一面に咲き誇ったニリンソウでしょうか。時折、見つける緑花のニリンソウは四つ葉のクローバーを見つけたような嬉しさがありました。ほかに気になったのがサンカヨウです。初めて聞く名前、白い花は雨に濡れるとガラスのように透明な花卉になると教えてもらい、一度は見てみたいものだと思います。ちなみにサンカヨウの漢字は山荷葉と記載されていました。

(細川 真由美)

ズダヤクシュ（喘息薬種） 長野県の方言で喘息のことをズダといい、この草が薬用になるという。

上高地一日目。梓川の左岸を徳澤へと向かう途中、何度もこの植物を目にした。枝分かれすることなく葉の間から短い花茎がすくっと立ち、小さなつぼみがたくさん集まってついている。何株かまとまって生えていて、そろい立つ姿が凛々しい。目立たないがとても気にかかる。どんな花が咲くのだろうか。たくさん目にするがどれもつぼみ。中には花茎が伸びてつぼみとつぼみの間が開いているものもある。やっと一つだけ咲いた花を見つけた。下向きに萼裂片をやや開いていた。丈が低くてこの花の中をのぞきこめない。花は約 2.5 ㍿。二日目。やっと人に何という花か尋ねられた。ズダヤクシュ。喘息もちの私にピッタリ。しかしこの花は亜高山帯の花とか。薬効を試す機会はなさそうだ。



サンカヨウ

5 月下旬の上高地は初めてでおかげで見たかったサンカヨウの花に出会うことができました。大きな葉っぱの上に藍色の丸い実がついているのしか見たことがなかったので、丸みのある 6 弁の白い花は想像以上の美しさだった。

またシロバナヘビイチゴ、ツバメオモト、ユキザサ、シロバナエンレイソウ、マイヅルソウ、ハタザオそれにニリンソウと白い花の多い中ワスレナグサに似た青いエゾムラサキが愛らしかった。



ホンシャクナゲ

木でもズミ、ミヤマザクラ、シウリザクラとこれも白い花の中、崖の上のホンジャクナゲとピンクの花が満開で色を添えていた。

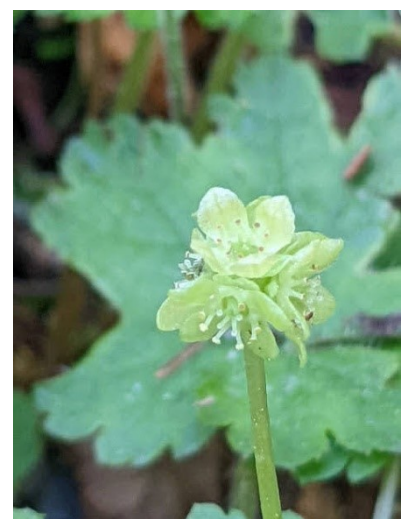
今回はお天気に恵まれさわやかな空気の中で雪が残る穂高連峰をあおぎみてニリンソウの群生、ハルニレの大木の中を歩いた素敵な旅でした。

（出口 由美子）

ハルニレの大木とニリンソウの絨毯と雪が残る穂高連峰、全部が美しく仲間とこの風景の中歩けたことに感謝です。

ダケカンバ、とカラマツ、もうこれだけで気分はウキウキ。一番いい季節、雪解けで目覚めた花たちにたくさん出会えました。エゾムラサキ、ヤマシャクヤク、ミヤマエンレイソウ、ミヤマカラマツ、クルマバツクバネソウ、サナギイチゴ、レンプクソウ、コミネカエデ、マイヅルソウ、ノビネチドリ、ツバメオモト、シウリザクラなど、数え上げたらきりがなくらい。初めて出会ったザリコミ、ドロノキ、ズダヤクシュ聞き慣れない名前記憶に残りました。「ミツデカエデです。」という声を聴いて花脊にある！レンプクソウ、エンレイソウも、近くの自然が豊かだということを知る機会にもなりました。

（齋藤）



レンプクソウ



ルイヨウボタン



ムラサキエンレイソウ



カミコウチテンナンショウ



ミヤマカラマツ



コミヤマカタバミ



キジムシロ



ハンゴンソウ



クルマバツクバネソウ



コミネカエデ



ゴジュウカラ
逆さになり木の
幹を回り餌
探し

